作成日：2026年6月

安全データシート（SDS）

1.製品及び会社情報

会社名	大衛株式会社
担当部署	品質保証本部
製品名、製品コード	CDNO.2274　アメジストクレアシートプラス4イリ
製品名、製品コード	CDNO.2313　アメジストクレアシートプラス5イリ
会社名	大衛株式会社
住所	〒534-0021 大阪府大阪市都島区都島本通2-3-3
電話番号	06-6924-0495
FAX番号	06-6928-9450
緊急連絡先	メール：info@amethyst.co.jp 電話番号：06-6924-0495

2. 危険有害性の要約

GHS分類	該当なし（非危険物）
物理化学的危険性	該当なし
健康に対する有害性	該当なし
急性毒性(経口)	該当なし
急性毒性(経皮)	該当なし
急性毒性（吸入：ミスト）	該当なし
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	該当なし
皮膚感作性	該当なし
生殖毒性	該当なし
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	該当なし
環境に対する有害性	該当なし
水生環境急性有害性	該当なし
水生環境慢性有害性	該当なし
危険有害性情報	特になし
注意書き	特になし
安全対策	
取扱い時の注意	目や粘膜に入らないように注意してください 使用中に赤み、かゆみ、刺激等の異常が生じた場合は、使用を中止してください。 乳幼児や認知症高齢者の誤使用を防ぐため、手の届かないところに保管してください。 本品はトイレに流さないでください。 開封後は速やかに使用し、再使用はしないでください。
個人防護具	通常の使用において特別な個人防護具は不要。ただし、皮膚の弱い方や長時間にわたる作業を行う場合は、手袋（ニトリル製、PE製等）の着用を推奨する場合があります。 また業務用で誤って目に入る可能性がある場合は、保護メガネ着用が望ましいです。
保管	直射日光を避け、容器を密閉し換気の良い冷暗所に施錠して保管すること。
廃棄	内容物や容器を、地方自治体の廃棄規則に従い廃棄。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区分	混合物
官報公示整理番号（化審法）	有り(下記に記載)
成分及び含有量	

成分	含有量(%)	CAS番号	官報公示整理番号
水	非公開	7732-18-5	2-11
グルコノラクトン	非公開	90-80-2	2-940
グリセリン	非公開	56-81-5	2-242
安息香酸Na	非公開	532-32-1	3-1076
ポリソルベート80	非公開	9005-65-6	-
モモ葉エキス	非公開	84012-34-0	-
ベンザルコニウムクロリド	非公開	8001-54-5	-
エチルヘキシルグリセリン	非公開	70445-33-9	-
クエン酸	非公開	77-92-9	2-131

4. 応急措置

皮膚に付着した場合：通常は安全だが、赤み・かゆみ等の異常があれば使用を中止し、流水と石けんで洗い流す。異常が残る場合は皮膚科を受診する。
目に入った場合：すぐに流水で15分以上洗眼する。
コンタクトレンズは外し、異常があれば眼科を受診する。
吸入した場合：シート製品のため通常は想定されないが、気分が悪くなった場合は通気の良い場所で安静にする。異常があれば医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合：少量なら問題ないと考えられるが、気分が悪くなった場合は、口をすすぎ、水を飲む。異常があれば医師に相談する。

5. 火災時の措置

消火剤	水、泡、粉末消火剤、二酸化炭素（CO2）
大規模な火災	水噴霧（ウォータースプレー）、泡消火剤（フォーム）、霧状水（ミスト）などが有効
使ってはならない消火剤	特になし
特有の危険有害性	燃焼時に有害なガス（CO、CO2）が発生する可能性あり。
特有の消火方法	安全な場所から風上に位置し、適切な保護具を着用して消火する。
消火を行う者の保護	消火活動時は、自己完結式呼吸保護具及び耐火性のある保護具を着用。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	滑りやすくなることがあるため足元に注意する。 皮膚に異常がある場合は、保護手袋を着用する。 換気を十分に行う。
環境に対する注意喚起	製品の液が大量に漏れた場合は、下水や水系への流出を防止する。 少量であれば、通常の廃棄で問題なし。
封じ込め及び浄化の方法及び・機材	清潔な布や紙でふき取る。 大量の場合は、吸収剤（紙・布・おがくず等）で吸収し、適切な容器に回収する。 回収後は中性洗剤と水で拭き取り、よく乾燥させる。
二次災害の防止策	滑って転倒しないよう注意喚起表示を行う。 作業者に速やかに周知し、再発防止策を講じる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄ができる設備を設置する。
安全取扱注意事項	目や粘膜に入らないように注意する。 傷やはれもの、湿しん等、異常のある部位には使用しない。 一度使用したシートは再度使用しない。
保管	
安全な保管条件	直射日光、高温多湿を避け、冷暗所に密閉して保管すること。 開封後はなるべく早く使用し、フタをしっかり閉めること。 乳幼児やペットの手の届かない場所に保管すること。 強いにおいのあるものの近くにはおかない（におい移りの可能性あり）。
安全な容器包装材料	内容物との科学的反応性が無い素材（例：ポリプロピレン（PP）、ポリエチレン（PE）等。 液漏れ防止性があり、密閉性のある構造・再封可能なフタやチャック付き包装が望ましい。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	特別な局所排気装置は不要。 衛生管理のため手洗い設備を設置しておくことが望ましい。
管理濃度	設定なし
許容濃度	
日本産業衛生学会	設定なし
保護具	
呼吸器の保護具	通常の使用において必要なし。
手の保護具	特別な保護具は不要。ただし、皮膚の弱い方は手袋等の使用を推奨する場合がある。
眼の保護具	通常の使用では不要。誤って目や粘膜に入らないように注意する。
皮膚及び身体の保護具	特別な作業衣、保護具は不要だが、衛生的な環境を保つために清潔な服装が望ましい。
衛生対策	取扱い後は手を洗うこと。 他人との共用は避け、衛生的に取り扱う。 飲食・喫煙は作業場所では避ける。

9. 物理的及び化学的性質

外観	白色の不織布に液体を含侵したレーヨンシート
物理的状態/形状	液体含侵不織布
色	白色
臭い	わずかに特有の臭いあり
臭いの閾値	情報なし
pH	約4～6
融点(流動点)	測定対象外
沸点	約100℃
引火点	該当なし
蒸発速度	測定対象外
燃焼性(個体、ガス)	該当なし
燃焼又は爆発範囲	情報なし
蒸気圧	情報なし
蒸気密度	情報なし
密度(比重)	約1.0
溶解度	
水溶解性	水溶性
溶媒溶解性	水、エタノールなどの極性溶媒に可溶と推定/情報なし（実測値なし）
n-オクタノール/水分配係数 (log Pow)	情報なし
自然発火温度	該当なし
分解温度	情報なし
粘度(粘性率)	情報なし
その他のデータ	情報なし

10. 安全性及び反応性

化学的安定性	通常の使用では安定である
危険有害反応可能性	特になし。通常の保管・使用条件下では反応しない
避けるべき条件	高温・多湿・直射日光
混触危険物質	特になし
危険有害な分解生成物	燃焼時に一酸化炭素（CO）、二酸化炭素（CO2）などの有害ガスを発生する可能性あり
その他	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	
製品についての情報	情報なし
成分についての情報	情報なし
経皮	
製品についての情報	情報なし
成分についての情報	情報なし
吸入	
製品についての情報	情報なし
成分についての情報	情報なし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	
製品についての情報	通常使用では刺激性はないが、個人差により異常が生じる場合あり
成分についての情報	通常使用では刺激性はないが、個人差により異常が生じる場合あり
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	
製品についての情報	目に入った場合は刺激を感じる可能性あり。速やかに洗い流すこと
成分についての情報	目に入った場合は刺激を感じる可能性あり。速やかに洗い流すこと
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
製品についての情報	通常は問題ないが、敏感肌の方にアレルギー反応の可能性あり
成分についての情報	通常は問題ないが、敏感肌の方にアレルギー反応の可能性あり
皮膚	
製品についての情報	情報なし
成分についての情報	情報なし
変異原性(生殖細胞変異原性)	
製品についての情報	情報なし
成分についての情報	情報なし
発がん性	
製品についての情報	情報なし
成分についての情報	情報なし
IARC	該当なし
NTP	該当なし
日本産業衛生学会	該当なし
生殖毒性	
製品についての情報	該当なし
成分についての情報	該当なし
特定標的臓器毒性、単回ばく露	
製品についての情報	情報なし
成分についての情報	情報なし
特定標的臓器毒性、反復ばく露	
製品についての情報	該当なし
成分についての情報	該当なし
呼吸性呼吸器有害性	
製品についての情報	想定されていない製品形態
成分についての情報	想定されていない製品形態
その他	情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	環境中に大量に放出しないように注意
急性有害性	本製品に含まれる成分の大半は、含まれていない。強い毒性なし
長期間有害性	本製品に含まれる成分の大半は、含まれていない
残留性・分解性	生分解の高い成分を含む
生態蓄積性	該当データなし/蓄積性は低いと推定
土壌中の移動性	情報なし（使用条件下で問題なし）
他の有害影響	情報なし

13. 廃棄上の注意

製品廃棄時の注意	使用済のシートは各自治体の規制に従って、一般ごみとして廃棄すること トイレには流さないこと
未使用品・漏出品の廃棄	大量に漏れた場合は、吸収材で回収し、可燃ごみまたは産業廃棄物として 適切に処理すること。
容器の廃棄	プラスチック包装は、各自治体のプラ分別ルールに従う 内容物が残っている場合は、中身を抜き取ってから廃棄する
法規制の対応	産業途中で大量廃棄する場合は、廃棄物処理法等の関係法令に従い、許可を受けた 廃棄物処理業者に委託すること

14. 輸送上の注意

国際規制	該当なし
国連分類・国連番号	該当なし
IATA	
UN Number	該当なし
Proper Shipping Name	該当なし
Class	該当なし
Packing Group	該当なし
IMDG	
UN Number	該当なし
Proper Shipping Name	該当なし
Class	該当なし
Packing Group	該当なし
Additional Information	該当なし
国内規制	特別な規制なし
輸送の特定の安全対策及び条件	直射日光、高温を避ける。 液漏れや破損を防ぐため、段ボール等に安定的に梱包して輸送すること。
包装・表示に関する注意	製品ラベルが確認できる状態で表示すること。 開封後の製品は、再密封すること。
その他	振動・衝撃を避け、転倒・落下防止を行うこと。 輸送中に液が漏れた場合は、SDS「漏出時の措置」に従って対応すること。

15. 適用法令

労働安全衛生法	基本的に該当なし
化学物質排出把握管理促進法	構成成分（水・グリセリン・クエン酸など）が既存化学物質に該当
PRTR法（化管法）	対象物質を含まず
毒物及び劇物取締法	対象物質を含まず
消防法	引火性のある液体・可燃性ガスに該当せず
航空法	IATA・IMDG非該当につき対象外
船舶安全法	IATA・IMDG非該当につき対象外
海洋汚染防止法	IATA・IMDG非該当につき対象外
廃棄物処理法	大量廃棄時には一般廃棄物または産業廃棄物として適切に処理

16. その他の情報

物質登録情報	
ENCS(Japan)	登録あり（既存化学物質）
TSCA(USA)	登録あり
EINECS(EU)	登録あり/一部天然物は対象外
AICS(豪)	必要ありと推定
引用文献	・GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法（JIS Z 7253:2019） ・独立行政法人 製品評価技術基盤情報（NITE）「GHS分類結果データベース」 ・国際化学物質安全性カード（ICSC） ・化学物質のGHS分類ガイダンス（日本化学工業協会） ・各種成分のSDS（グリセリン、クエン酸、安息香酸Na等）

このデータは作成の時点においての知見によるものですが、必ずしも十分ではありませんし、
何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには十分注意してください。
なお、この安全データシート（SDS）はJIS Z 7253:2019に準じ作成しています。